



釧公大だより

AURORA



平成26年度 学位記授与式（平成27年3月23日）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

- 学長メッセージ…………… 2
- 退職者あいさつ・新任教員紹介…………… 3
- 留学を終えて・大学ニュース…………… 4～5
- 学生のページ…………… 6
- 卒業生からのメッセージ…………… 7
- 就職戦線最新情報…………… 8



振り返って、あれこれ

釧路公立大学学長 高野敏行

4月に発行される、この「あうろーら」の原稿は、ほぼひと月前に書かれています。1月までは、穏やかに春が近づいてくる気配でしたが、2月半ばからは一転し、週に1度ずつ暴風雪が押し寄せてきています。忘れられない冬になりそうです。

さて、今回は平成26年度の後半に見聞きしたことを思い返して書いてみます。

平成26年度後半には、公立大学協会では理事会においても全体の学長会議でも、文部科学省が旗を振っている事業である「大学ポートレート」への参加の在り方を巡って、かなりの議論がありました。事業の方針自体が右往左往した挙句に、かなり強引なかたちで実現しようとしたことが、かなりの反発を招いたようです。「大学ポートレート」自体は小さな事業ですが、学校教育法の改正、大学入試制度の変更方針の決定などの制度変更、グローバル人材の養成と「地方創成」における大学の役割など、国の大学政策はますます具体的な形をとってきています。振り回されないように、相当工夫をしていかなければなりません。

大学基準協会による某大学の認証評価に主査として参加しました。評価する側に立つのは初めてでした。当該大学からあらかじめ提出された大部の資料を読み、大学の現状・課題についてチーム内で議論し、中間報告書を作成したうえで、実地調査に臨みます。大学側（あのときは教員・事務職員で30人ほどいたでしょう）とは初対面ですが、かなり突っ込んだ応酬をしなければなりません。質疑・意見交換の間中、資料の読み込みが足りなければ反論される、さらには不信感を生んでしまうという不安が付きまといました。その緊張感は強く印象に残っています。そのインタビュー後に評価文書を練り直して、協会のチェックを受けます。評価結果はこの「あうろーら」が出るころには社会に公表されることになっていますが、認証評価が評価する側・される側の共同作業であることが実感できた経験でした。本学もあと数年で第二期の認証評価を受けることとなります。心づもりをしておかねばなりません。

学生の活動についても思い出す事があります。秋・冬には学生たちからいくつもの表彰報告を

受けました。吹奏楽部のNHK地区大会での金賞受賞、皆月ゼミのメンバーたちが経済産業省の道内アプリコンテスト、学会で表彰トロフィーを獲得してきました。硬式野球部のマネージャーたちが連盟表彰を受けました。表彰ではありませんが、アカペラコーラスサークルと弦楽アンサンブルの共同演奏会には、多くの近隣住民がアトリウムに来てくれ、大喝采でした。演劇部の公演も印象に残りました。つい先日、男子アイスホッケー部が2部リーグで優勝したとの報せを届けてくれました。これからも、さまざまな活動がますますさかんになり、よろこびをあたえてくれますようにと願っています。

年明けには卒業生から送られてきた原稿をチェックすることもしていました。現在は本州で教員をやっている卒業生から、「本を出したいので、原稿を読んでほしい」と頼まれたのです。在学中に書いていた文章にくらべると、格段によくなっていました。そのこと以上に、この間に彼が経験したことの大きさ、それが彼の考え方に深みを与えていることを知りました。若い人は大きく成長するものです。

先頃、ある市民団体に招かれてお話しする機会を得ました。終了後のレポートとして「もっとも嬉しかったこと」について書いてもらいました。「仕事がうまくいった」、「子供が生まれた」、「資格が取れた」など、いろいろの種類の喜びが書かれていました。その中で「尊敬する先輩に褒められた」、「家族に祝ってもらった」という、いわば評価してもらいたい人に、きちんと評価されるよろこびを述べていたものが私の目を引きました。私も教員として学生を評価することがありますが、「評価してもらいたい人」とみなされているのだろうかと思われさせた次第です。

活動が拡大し続ける学生の研究交流SCAN、釧路信用金庫からの寄付講座、新年度に導入されるLMS（ラーニング・マネジメント・システム）についても述べたかったのですが、紙幅が尽きました。

背すじを伸ばし、胸を張って、新年度に臨みたいと思います。

退職者あいさつ



定年退職にあたり

教授 村上 文司

わたしは、1988年の本学開学と同時に、大学設置審議会の厳しい教員審査を経て、社会学総論、同演習および産業社会学担当助教授として赴任し、1993年には小林和男助教授と共に本学初の教授に昇任しました。定年に際して、第二の故郷釧路で過ごした27年間の職業人生を支えてくださった学生や卒業生あるいは教職員の方々に惜別のことを贈ります。

27年間の歳月をふりかえって、最初に心に浮かぶのは、第1期生から第24期生まで336人にのぼる「社会学総論演習」から巣立った卒業生との強い絆である。かれらは、北海道内はもとより全国各地で、民間企業の職員、国家公務員や地方公務員、中学校あるいは高等学校の教員などの職業に従事し、なかには漫画家として世に出たひともあります。2年間の演習が育むゼミ生との絆は、わたしの職業人生を豊かなものにしてくれた宝であり、定年をむかえて、毎年の年賀状やお盆の時期の再会を通じて、かれら卒業生から賜った心温まる励ましの言葉に対する感謝の気持ちでいっぱいです。

また大学の講義で大切なのは、その質を保証する担当者の研究業績です。本学に赴任して2年目の夏休みに職業・生活研究会の一員として北米で試みた日系進出自動車



企業の調査は、帰国後、日本学術振興会の科研費の援助による自動車関連の道内進出企業調査へとつながり、その報告書と3冊の共著は「産業社会学」の講義のもとになりました。また「経験的社会学の生成」を主題とする「社会学総論」講義あるいは社会調査史研究会の一員としておこなった研究は、一橋大学博士（社会学）の称号と専門社会調査士（社会調査協会）の資格取得につながる『近代ドイツ社会調査史研究』に結実し、これに近著『社会調査の源流』を加えた2冊の単著は、熱心に講義を受講してくれた在校生や調査史研究を志す全国の研究者仲間が存在、そして学術振興会による科研費や出版助成のたまものです。

本学の開設メンバーとして従事した校務には、附属図書館長としておこなった自己点検作業や就職率の改善につとめた就職委員会の仕事がありますが、とくに記憶に残るのは、長期にわたる紀要委員会の仕事です。創刊号の刊行は予算や版型問題に遭遇して難産でしたが、その後、欠号を出すことなく今日まで続いています。しかし、十分な研究費と予算の配分がなされているにもかかわらず、過去10年に一編の学術論文の投稿のないものは論外として、紀要に対する毎年の投稿数が多いとは言えません。研究実績を欠く講義や演習あるいは情実人事の横行やマスコミを含む産官と学の節度を越えた癒着で、大学が質の低下をまねく例は多い。地方交付税の減額による財政問題、18歳人口の逡減による実質競争倍率の減少、センター試験の廃止にともなう入試制度の改革、法人化への移行問題、留年や新卒無業対策など、場当たりの対応が許されない難問が山積し、本学の前途は多難です。建学理念に根ざす健全なカリキュラム改訂、専門性の厳格な審査に基づく採用・昇任人事、入学試験や学生の就職指導をめぐる抜本的な制度改革に対する教員の真摯な努力、そして、これを支える事務局職員の方々の奮闘に期待しています。



退職にあたって

准教授 中川 訓範

3月末日をもち、5年間勤めました釧路公立大学を退職することになりました。2010年4月に赴任して以来、あっという間の5年間でした。短い間でしたが、大学の教職員の皆様を始め、色々な方々にお世話になりましたことを厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

私にとって、釧路に住むことはもちろん、北海道に住むこと、さらには寒冷地に住むことすら初めてという初めて尽くしの5年間でしたが、良い環境に恵まれ、無事過ごすことができました。釧路に住んで良かったと思う事柄はいくつかありますが、いの一に挙げられるのは食べ物です。特に、乳製品、北の海の魚貝類、蕎麦については舌がかなり肥えてし

まった感があります。その次は夏の涼しさです。道東の夏の過ごしやすさは特筆に値すると思います。三つ目は冬です。寒冷地での冬の暮らしは、私には初めての経験ばかりで苦労はありましたが、住まなければ知ることのできない貴重な経験でした。日常生活の経験ばかり振りかえっていますが、本務である研究や教育の面でも、数々の貴重な経験を得ることができました。釧路公立大学は私にとって大学の教員としてのスタートを切った職場であり、試行錯誤や失敗もありましたが、研究面では2本の論文が査読付英文国際誌に採択され、教育面でも様々な経験を積むことができました。まだまだ若輩の私の成長を温かく見守ってくれた大学の環境に改めて感謝の念を禁じえません。

4月からの異動先では、これまでの経験も活かして、大学の教員としてより一層精進して参るつもりです。最後になりましたが、釧路公立大学の今後益々のご発展と、教職員の皆様そして学生の皆様のご多幸を祈り、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

新任教員紹介

●大澤 理沙 (講師) 「統計基礎(経済)」「労働経済論」「社会保障論」「労働政策論」担当

留学を終えて



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 伊藤 慎 紘

カナダでの生活は自分にとって貴重な経験になりました。留学当初は言語や異文化に戸惑いを感じながら過ごしました

が、新たな出会いや目標を持ちそれに突き進む仲間から刺激を受け、その結果、徐々に英語での会話ができるようになり、それが自分に自信をつけてくれて不安な気持ちはなくなりました。上手くいった時も、そうでない時もすべてが身になるものでした。このような素敵な機会を与えてくれた先生、そして支えてくれたすべての人にとっても感謝しています。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科3年 田村 真 鈴

短い期間ながらもたくさんのお話を吸収して帰ってくる事ができました。たくさん個性豊かな友達との出会いや、

優しいホストファミリー、現地で出会った日本人の方など、バンクーバーを離れるのが寂しくなるほどの素敵な方々と出会うことができました。大学で英語を学びながらも、文化や言語の違い、異国で生活する大変さを感じるとともに、日本の良さに離れて初めて気づくことができました。留学のサポートくださった皆さんに心から感謝しています。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科3年 太刀川 宏 祐

今回の留学で最も自分の糧になったと思うことは「人」に興味を持たれたことです。

バンクーバーは世界中から無数の生活背景をもった人々が集まる街です。その中で自分の考えをしっかりと保ちながらも相手を尊重する大切さを知りました。同時に、もっといろんな人に出会い、深く理解したいという気持ちにもなれました。今、私はこの文章をインドで書いています。バンクーバーでの経験が、次はこの広いインドで暮らす人々を知りたいという思いを強くしたのだと思います。



大韓民国・牧園大学派遣

経済学科4年 舩 森 杏 理

1年間の韓国留学は充実した日々を過ごすことができました。留学して間もない頃は韓国語が上手く話せずコミュニケ

ーションで苦勞することや、韓国と日本の文化の違いに戸惑い苦勞することも多かったです。しかし、韓国でのたくさんの人々との出会いやさまざまな経験を通じて次第に韓国語も上達し、生活にも慣れていきました。苦勞は多かったですが、人生の中で貴重な経験ができたことにとっても感謝しています。



大韓民国・牧園大学派遣

経済学科3年 安藤 萌

留學生活当初、自己紹介もままならないレベルの韓国語と、初の海外に苦勞の連続でしたが、友人やルームメイトの支え

もあり、韓国語も、精神的にも大きく成長することができました。夏休みには、ソウルへ行き、新しい環境で勉強することにより、留學の楽しさを再確認し、自信が持てるようになりました。今回の留學が私に与えてくれたものは語學の実力だけではなく、多くの友人と自信感も与えてくれました。支えてくださった方々に心から感謝しています。



ロシア連邦・ユジノサハリンスク 経済法律情報大学派遣

経済学科4年 萩原 杏 奈

留學して気づいたことは、初心者が外国語を話すときに自信なんて必要ではなく、使って間違えて振り返って覚えると

いった経験を積むことが一番大事だということです。話したいことを上手く話せないのを克服する自分との闘いで、ロシア語が自然と頭に思い浮かぶよう努力が必要でした。しかし、自分の話せる限界に挑戦していると、少しずつ伸びてくるので遣り甲斐が感じられます。私にとって留學は一生の宝物で、サハリンは素敵な人たちと出会った思い出の場所です。



ロシア連邦・ユジノサハリンスク 経済法律情報大学派遣

経営学科4年 長瀬 萌

ロシアから来た留學生との出会いをきっかけに、以前から興味があったロシア語を独学で学習し留學しました。留學中

は言葉などの面で苦勞はありましたが、私は大学のロシア語の授業を履修していなかったので留學が決まるまでの方が、実は大変でした。しかし、ロシア語の教授を中心に様々な方の支えがあったおかげと、自分が諦めなかったおかげで留學が決定し、無事に素晴らしい留學を終えることができ、とても良かったです。



台湾・明道大学派遣

経済学科4年 橋場俊輝

中国語の学習歴が短いため当初は意思疎通が困難で、台湾での生活にも慣れるまで大変でしたが、友人、教授の支えの

おかげで中国語も日に日に上達し、生活にも慣れていきました。連休は台湾各地に、長期休みは東南アジアへ旅行に行き刺激的な時間を過ごしました。

一年の台湾生活を振り返ると苦しいことも多かったです。語学習得以外にも、自分と異なる様々な考え方や振る舞い、生活様式を受け入れることによって、自分の世界観が広がった有意義な留学になりました。



台湾・明道大学派遣

経営学科3年 久藤千尋

台湾に行った当初は友人や先生と全く意思疎通ができず、授業も理解できなかったのが悔しい思いをしましたが、その

悔しさをばねに毎日の授業で一つでも多くの単語を覚え、放課後や週末に友達との会話で使うことで自然に語彙が増えていき、徐々に毎日誰かと会話するのが楽しくなりました。

この1年の経験は私の人生においてとても大切なものとなりました。協力してくださった皆さんへの感謝を忘れずに、これからの人生に役立てたいと思っています。

大学ニュース

— 平成26年度を振り返って —

- 4月1日(火) 交換留学生来日
韓国の牧園大学より沈 보리(シム ボリ)さんと金 相範(キム サンボム)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 4月10日(木) 第27回入学式
午前10時より本学27期生の入学式が挙行され、346名(経済学科227名、経営学科119名、男254名、女92名)が晴れて入学した。
- 8月9日(土) オープン・キャンパス
本学の関心を高めてもらうため、オープン・キャンパスを開催。今年で18回目となり、346名の参加者は熱心に話を聞いていた。
- 9月1日(月) 交換留学生来日
台湾の明道大学より羅 永興(ラ エイ コウ)さんと陳 佳慧(チン カ ケイ)さんが、ロシアのユジノサハリンスク経済法律情報大学よりКим Анна(キム アンナ)さんとСвятецкая Ольга(スヴァテツカヤ オリガ)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 10月3日(金)～11月21日(金) 公開講座
平成26年度の公開講座を本学の白川欽哉教授、宮崎武俊教授、中川訓範准教授、生方雅人准教授が、それぞれ個別のテーマで講演を行った。

- 10月10日(金)～12日(日) KPUフェスタ(大学祭)
今まで積み上げてきた実績と経験に趣向を凝らした様々なイベントが催され、より一層、盛況なものとなった。
- 11月14日(金) 特別講演会
北海道大学名誉教授・九州大学名誉教授加来祥男氏より「20世紀巨大企業論の構想」というテーマで講演があった。
- 11月20日(木) 平成27年度特別選抜試験
全国より136名(経済学科99名、経営学科37名)の志願者があり、その結果109名が合格した。
- 11月27日(木) 特別講演会
兵庫県立大学経済学部応用経済学科教授水野利英氏より「社会保障と労働」というテーマで講演があった。
- 平成27年度一般入試(前期日程)
大学入試センター試験をもって選考。432名(経済学科234名、経営学科198名)の志願者があり、3月5日(木)に合格発表が行われた。
- 3月8日(日) 平成27年度一般入学試験
[公立大学中期日程]
釧路・札幌・盛岡・東京・大阪の5会場にて実施。1,217名(経済学科816名、経営学科401名)の志願者があり、3月21日(土)に合格発表が行われた。
- 3月23日(月) 平成26年度学位記授与式
第24期の卒業生279名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀な5名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

平成27年度年間スケジュール

4月1日……学年始め	9月24日……後期授業開始	1月28日……後期定期試験(2/5迄)
9日……入学式	10月9日……大学祭(KPUフェスタ)(10/11迄)	3月1日……卒業生発表
10日……オリエンテーション	11月19日……平成28年度特別選抜試験	8日……平成28年度一般選抜試験
13日……前期授業開始	12月23日……冬期休業開始(1/9迄)	16日……春期休業開始
6月25日……開学記念日		23日……学位記授与式
7月28日……前期定期試験(8/5迄)	平成28年	31日……後期終了
8月1日……夏季休業開始(9/22迄)	1月12日……授業開始	
9月22日……前期終了		

◎平成27年度前期授業料の納付について

前期授業料は4月30日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

入|学|お|め|で|と|う

体 育 会

体育会会長

吉田 弘輝



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
釧路公立大学へようこそ。

これから始まる大学生活には様々なことが考えられます。授業スタイルや親元を離れての一人暮らしなど大きな変化があると思います。大学生活は皆さんが思っているより自由なものです。毎日朝から夕方まで授業があるわけではなく、自分が学びたい科目や必修科目を選択することでオリジナルの時間割を作ることができ、空き時間を有意義に使うことができます。この時間は是非有効に使ってほしいと思いますが、なにもしなければあっという間に過ぎ去ってしまいます。長いようで短い大学生活の中で何をやるかが重要です。

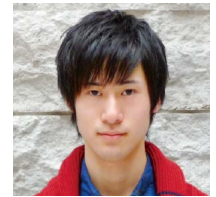
さて、最も身近な出会いの場として、部活動・サークル活動などがあります。釧路公立大学には高校までにはなかった活動をしている団体が多くあります。高校まで所属していた部活動のみではなく、新たに興味をもったものに挑戦することを私はオススメします。また、道東地方ならではのカーリングやアイスホッケーといったウィンタースポーツも活動しています。これらの活動の中で得られる経験や出会いは大学生活だけではなく、社会に出てからも役に立つものです。まずは、各部活動やサークル活動を見学されたうえで自分の興味のあるものに参加していただきたいと思っています。

大学生活はこれまでと違い、人を簡単に変えてしまう環境にあります。一人暮らしの方はこれまでのように見守ってくれる親はいません。その中で自分を見失わず自分の意思をしっかりとつことが大事になります。辛いことがあったら友達に頼ってください。人との出会いを大切に、大学生活を存分に楽しんでください。

文 化 部 会

文化部会会長

伊豫部 晶人



釧路公立大学の新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから始まる釧路での大学生活に皆さんは期待を膨らませていることと思います。大学ではこれまでの学生生活とは違い、自主判断をする機会が多くなります。特に、時間の使い方は以前より自由に決めることが可能になります。自由に使える時間を有意義に過ごすために、やはり人との繋がりには欠かせません。

大学での人間関係の形成の機会は主にサークル活動の中にあります。サークルに所属すると、同学年の学生はもちろん、普段触れ合わない先輩と交流することができます。たくさんの人たちと時間を共にすることで、サークルでの活動を越えた情報や意見の交換、時には悩みの相談もすることができます。サークルでの繋がり、今後の生活の助けとなります。そのため、私は皆さんにサークルに所属することをお勧めします。

大学では様々なサークルが活動しています。積極的にサークル見学に参加し、それぞれのサークルの雰囲気を見てきてください。その中に興味が惹かれるものが必ずあると思います。私たちはいつでも皆さんのお越しをお待ちしております。

大学は時間の使い方を学ぶ場所です。講義、アルバイト、サークルの選択などを通してその力は養われていくと思います。ただ、膨大にある自由な時間を何も行動せず過ごしてははその力は身に付きません。何もしなければ大学生活はつまらなく過ぎていきます。初めは何も分からなくて不安だとは思いますが、新入生の皆さんには何事も積極的に行動してほしいと思っています。そうすることで時間の使い方を学びつつも、楽しい生活を作っていくはず。「あの頃がよかった」ではなく、「今が一番楽しい」と思えるような生活になるよう、心から皆さんを応援しております。

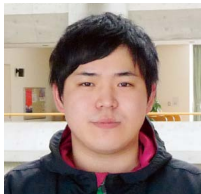
〈体育会〉27団体

男子アイスホッケー部
硬式テニス部
硬式野球部
サッカー部
準硬式野球部
卓球部
男子バスケットボール部
男子バドミントン部
女子アイスホッケー部
男子バレーボール部
男子ハンドボール部
アメリカンフットボール部
弓道部
剣道部
女子バレーボール部
男子ソフトボール部
女子バスケットボール部
柔道部
ラグビー部
陸上競技部
ソフトテニス部
女子ソフトボール部
女子バドミントン部
合気道部
フットサル部
カーリング部(StoNeカーレース)
女子ハンドボール部

〈文化部会〉36団体

軽音楽部
放送研究部Visions
美術部やちぼうず会
カヌー部BOW
茶道部
吹奏楽部
TRPG研究会
ボランティアサークル
写真部
スノーボード部
囲碁部
演劇部
ストリートダンスサークルOZ
軟式野球部
キャンブビーイング部
天体観測部@ハウス
国際交流部
旅行部
フロアボールサークル
NBA同好会
弦楽アンサンブル
Study Production J
ビリヤード部
女子フットサル☆CBS
釧路公立大学YOSAKOIソーランサークル
K.F.C部(釧路フィッシングクラブ)
K-SCAN
ミニバレーサークル

釧路観光隊
スケートサークル
釧路公立大学アカバラスサークルFreiheit
サバイバルゲーム部K.S.F.GP
ボウリングサークル
模型同好会
Carrer Design Circle AXIS
空手部



大学生活を振り返って

経済学科 板花 昂太

釧路公立大学で過ごした4年間は毎日楽しく、非常に充実したものでした。大学での生活では、自ら考え、自ら判断し、自ら行動することが求められます。大学の講義ひとつでも、どの講義を履修するか4年後の卒業を見据えて計画的に考え行動しなくてははいけません。4年間という限られた時間の中で、受身の姿勢でいるのではなく、何をすべきか自身で考え、何事にも積極的に行動することが大切だと思います。

私は経済科目だけでなく教職課程も履修したため、講義数が多く大変だったことを覚えています。しかし経済だけでなく、教育という視点からも物事を考えることができるようになりました。大学で学んだことを将来に生かしていきたいと考えています。

3年生になってからは、『世界経済論演習』に

所属し、日本経済にとどまらず、欧米経済について金融・労働・経済政策・社会保障など多面的な側面から専門的な内容を学ぶことができました。4年後期からは卒業論文制作が本格化し、興味があった金融教育について研究を重ね、先生の指導を受けながら、完成しました。

就職活動は、今まで自分が頑張ってきたことや自分がどのような人間であるのか、自分を表現する場です。その中で、自分を見つめ直す良い機会でもあり、これまで以上に自身を成長させてくれる機会だと思います。自分の納得のいく結果を得るためにも全力で取り組み、積極的にトライしてみてください。また、就職活動を進めるにあたり、上手くいかないこともあるかもしれません。そのような時は、決して一人で悩まないで下さい。家族や仲間、先生、職員の方々が必ず助けてくれると思います。

大学の4年間はあっという間に過ぎ去ってしまいます。たくさん自由な時間がある中で、後悔をしないためにも一日一日を大切に、多くのことにチャレンジしてみてください。皆さんのご活躍を心より願っております。



大学生活を振り返って

経営学科 中塚 理奈

4年間の大学生活は、たくさんの人々と出会う事ができ、とても充実したものとなりました。私が大学生活を通して学んだ事は、やるべき事をよく考えてから行動し、自分自身に責任を持つという事でした。大学の講義はもちろんのこと、生活面や金銭面に関してもすべて自己管理しなければならないため、自分の行動に責任を持つ事の大切さを学ぶ事ができました。

勉学に関しては、1年生の時には幅広い分野の授業を受講し、2年生、3年生と進級していく中で、特に興味を持った分野の専門性を深められるような時間割作成をしました。中でも私は「経営学を深く学びたい」と思ったので、3年生の演習では、『経営組織論演習』を選択しました。約1年間に渡るプロジェクトを通して、組織内における個人行動についての研究を進めていきました。

4年後期に行った卒業論文制作では、これまでの研究を踏まえた独自のアンケート調査・分析をし、先生の指導を受けて、1つの論文を作成し、大学生活における集大成となりました。

生活面では、4年間のレストランでのアルバイトから多くの事を学びました。レストランの接客業務では、お客様1人1人に対する細やかな対応が求められました。お客様によって求めている事が異なるので、その人に合った接客を常に心掛けていました。この経験は、日々さまざまな人々と接する社会人生活にも活かせると思います。

就職活動では、「これまでどのような経験をし、そこから何を学んだのか」を、「自分の言葉で伝える事」が大切です。これまでの自分をしっかり見つめ直す事で、自分の強みが必ず見つかるはずです。落ち込む事もあると思いますが、皆さんの強みを武器に、自信を持って就職活動に臨んで下さい。

大学生活の4年間は、瞬く間に過ぎていきます。自身の大学生活を振り返った時、充実した時間になるよう、今この時間を大切に過ごして行って下さい。皆さんのご活躍を心より願っています。

就 職 戦 線 最 新 情 報

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2015/03/23

■建設業 アーニストホーム、コニシ、ミサワホーム北海道、早水組、田中組、日盛ハウジング、北海電気工事、北海道セキスイハイム、夢真ホールディングス

■製造業 アストラゼネカ、ササキコーポレーション、ソーゴ印刷、タカゾノ、ホクエツ秋田、丸ニサッシ工業、釧路内燃機製作所、宏和工業、札幌ベニヤ、三葉化工、持田製薬、帯広市役所、大日本住友製薬、東北芝浦電子、道東製めん、日の出工芸、武田薬品工業、文化シャッター、北海道糖業、柳月

■卸売・小売業 LIXILピバ、アークス、あいこう生花店、イオンスーパーセンター、イオン北海道、かみや薬局、カメイ、ガリバーインターナショナル、ジーユー、セブン・イレブン・ジャパン、ダイイチ、タカサ、ツルハ、トヨタカローラ苫小牧、ハミュレ、ほくやく、みま薬局、ムトウ、ユニクロ、ユニバース、ヨドバシカメラ、リンク・セオリー・ジャパン、丸三みうら楽器部、金屋呉服店、釧路トヨタ自動車、三ツ輪商会、山本忠信商店、寺岡システム、十勝三菱自動車販売、竹山、鉄建、東北テレシステム、日通商事、福原、北海道クボタ、北海道日紅、薬王堂

■金融・保険業 SMBC日興証券、あいおいニッセイ同和損害保険、イオンクレジットサービス、かんぽ生命保険、きらやか銀行、ゆうちょ銀行、旭川信用金庫、伊達信用金庫、遠軽信用金庫、釧路信用金庫、青い森信用金庫、帯広信用金庫、第一生命保険、稚内信用金庫、渡島信用金庫、東京海上日動火災保険、東北銀行、東北労働金庫、栃木銀行、日本政策金融公庫、北海信用金庫、北海道銀行、北海道信用農業協同組合連合会、北海道労働金庫、北門信用金庫、北洋銀行、北陸銀行、網走信用金庫、野村證券

■運輸・情報通信 SOC、TKC、エイチ・エル・シー、エヌ・ティ・ティ・データ北海道、ナビオコンピュータ、マツダロジスティクス、ワイズマン、恵和ビジネス、工房、札幌定温運輸、三ツ輪運輸、三八五流通、苫小牧埠頭、日本郵便、北海運輸、北海道中央バス、北海道旅客鉄道、毎日新聞社

■電力・ガス 伊藤忠エネクスホームライフ東北

■不動産業 エム、トヨタレンタリース釧路、ロゴスホーム、三光不動産、住創プランニング、日本地建

■サービス G-FACTORY、ROUTE INN GROUP、アイナックスクリーニング、イマージュ、エイジス、エイチ・アイ・エス、カナモト、きたみらい農業協同組合、こまち農業協同組合、ソラーレホテルズアンドリゾーツグループ、はま寿司、はれコーポレーション、ファミリー、プリンスホテル、ホクレン農業協同組合連合会、マイナビ、ミツハシ、レイズインターナショナル、阿寒グランドホテル、杏林会、音更宏明館病院、貴志川リハビリテーション病院、吉岡経営センター、釧路工業高等専門学校、釧路丹頂農業協同組合、鍵、孝仁会、広田湾漁業協同組合、更菜園、四季、重茂漁業協同組合、新星レジャー開発、全国共済農

業協同組合連合会岩手県本部、帯広第一病院、大学生協同組合連合会北海道事業連合、大樹町農業協同組合、朝日、道東勤労者医療協会、飛騨農業協同組合、浜中町農業協同組合、野口観光

■国家公務 航空自衛隊、国家一般職(小樽検疫所)、札幌国税局、自衛隊一般幹部候補生(陸上)、陸上自衛隊(一般曹候補生)

■地方公務 旭川市役所、浦幌町役場、岩手県警察、釧路市役所、警視庁、神奈川県警察、静岡県庁、滝川市役所、弟子屈町役場、北海道警察、北海道庁(一般行政)、紋別市役所、北海道教員(中学社会)、北海道大学大学院保健科学研究所

平成26年度卒業予定者の就職状況

平成27年3月23日現在

1. 求人件数及び内定状況

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子		207	180	166	92.2	14
女子		75	70	64	91.4	6
共用	992	—	—	—	—	—
合計	992	282	250	230	92.0	20

2. 進路別内定状況

進路	男子				女子				計			
	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%
民間	156	142	14	91.0	67	61	6	91.0	223	203	20	91.0
公務	23	23		100.0	3	3		100.0	26	26	0	100.0
教員	1	1		100.0	0				1	1	0	100.0
計	180	166	14	92.2	70	64	6	91.4	250	230	20	92.0
進学	1	1		100.0	0				1	1	0	100.0
その他進学	1	1		100.0	1	1		100.0	2	2	0	100.0
無業	23		23	0.0	3		3	0.0	26	0	26	0.0
計	25	2	23	8.0	4	1	3	25.0	29	3	26	10.3
合計	205	168	37	82.0	74	65	9	87.8	279	233	46	83.5

3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路管内		北海道内		北海道外		計		合計	割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
製造	5	1	7	2	12	4	24	7	31	13.5
卸売・小売	4	1	17	5	12	4	33	10	43	18.7
金融・保険	3	3	24	8	8	4	35	15	50	21.7
運輸・情報	2		9	6	9	4	20	10	30	13.0
電力・ガス					1		1	0	1	0.4
サービス	7	1	9	10	13	8	29	19	48	20.9
公務	6	2	12	1	6		24	3	27	11.7
計	27	8	78	32	61	24	166	64	230	—
合計	27	8	78	32	61	24	166	64	230	100.0
割合	35		110		85		230			
	15.2%		47.8%		37.0%		100.0%			

編集後記

モータースポーツの最高峰F1が始まった。今年は日本メーカーも復帰挑戦した。

65~70周を完走するレースは、まさに生まれてから定年になるまでの人生と同じように思える。大学生の時期は、20周目ぐらいを走行しているようなもので、それほど順位を決めるような走りの差はない。しかし、この先がレースの本番だ。

25週目ぐらいからはオーバーテイク(overtake)などの技を用いながら、より速く走り順位を上げていくことが求められる。諸君達はグローバルなレースを走っていかなければならない。

釧路公立大学だより 第51号

平成27年4月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211(代)

FAX 0154-37-3287

学生課: TEL 0154-37-5091

URL: http://www.kushiro-pu.ac.jp/

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)